

## 上智大学哲学科創設100周年記念講演会・シンポジウムのお知らせ

2013年11月、上智大学は創立100周年を迎えます。それと同時に、哲学科も100周年を迎えます。

そこで上智大学哲学会は、第79回大会として研究発表、100周年記念講演会・シンポジウム、祝賀会を開催いたします。

普段来られない卒業生の方も、旧交を暖める場として母校に是非お越しください。

### 第79回上智大学哲学会大会

・10:00～12:00 研究発表

堤田泰成(本学博士前期課程、11年卒):生理学と美の形而上学を繋ぐもの

——ショーペンハウアー『意志と表象としての世界』続編における天才の思慮について

山本剛史(慶応義塾大学非常勤講師、96年卒):オイコスの倫理学へ——ヨナス責任倫理学の形成

柿木伸之(広島市立大学准教授、93年卒):翻訳から言葉を見つめ直す——ベンヤミンの言語哲学を手がかりに

### 100周年記念講演会・シンポジウム

・13:20～14:50 講演会

講演者:水谷修(82年卒、関西大学及び花園大学客員教授)

「ここを病む子供たち——その背景と対策」

司会:長町裕司(79年卒、本学哲学科教授)

・15:10～17:40 シンポジウム「哲学科で学んだこと——回顧と展望」

司会:大橋容一郎(75年卒)/本学哲学科教授

登壇者:森一弘(61年卒)/カトリック司教、(財)真生会館理事長

渡部久仁子(旧姓細野)(73年卒)

峯岸正典(77年卒)/曹洞宗 長楽寺 住職

波多野稲子(旧姓菅原)(82年卒)/小説家、ペンネーム・久美沙織

塩川千夏/成蹊中学・高等学校教諭

松本佳代子(99年卒)/中央公論新社 学芸局 学芸編集部

武重有紀子(04年卒)/医療法人社団哺育会 横浜相原病院 臨床心理士

シンポジウムでは、

- (1) 哲学科はどんな雰囲気だったか、在学中にどんなことを学んだか、
  - (2) その後の仕事のなかで、どう活かしてきたか、
  - (3) 哲学科の学生・院生・教員・卒業生に伝えたいこと、
- などを各自15分ほどでご披露していただきます。

### 哲学科創設100周年記念祝賀会

・18:30～21:00 (於:スクワール麹町 5階—芙蓉)

会費一般6000円、学生5000円